

年頭挨拶

～ 災害から漁業経営を守るため普遍的加入の実現を～

全国の漁村の皆様、明けましておめでとうございます。

新春にあたり本年の豊漁と安全操業を心からご祈念申し上げます。

さて、漁業経営の安定と災害対策として重要な役割を担う「ぎょさい」は、昭和 39 年の制度発足以来、昨年 10 月で 40 周年を迎えることができました。これもひとえに漁業者皆様のご協力のたまものと敬意を表するとともに、ご支援いただいた関係各位に衷心より厚く感謝申し上げます。

この間の加入実績は、平成 15 事業年度末で 3,700 億円を上回り、その加入率は約 53% になるとともに、共済金は 4,700 億円を超える多額の支払を通じて中小漁業者の経営安定に大きく寄与して参りました。

最近の漁業経営を取巻く情勢は資源の減少、長引く経済不況による魚価の低迷、加えて台風、赤潮、魚病、大型クラゲの大量発生被害など誠に厳しい状況にあります。特に昨年は史上最多となる台風の上陸によって全国各地で甚大な漁業被害を受け、漁業経営が一段と困窮の度を深めている状況にあります。

このような中で、浜の漁業者、漁協系統の皆様方からの「ぎょさい」に寄せる期待と関心は益々高まっており、これに応え「ぎょさい」に課せられた役割を果たすために、これまでも増して制度の普及拡大に全力で取り組んでいかなければならないと痛感いたしましたしております。

我々ぎょさい団体は、現在「すべての漁業者の加入と補償力の向上」を目標として全国運動『新ぎょさい総加入運動 21』に懸命に取り組んでおりますが、本年は運動の最終年度を迎えることから、運動の総仕上げの年として位置付けてこの運動を強力に展開して参りたいと、決意を新たにしているところであります。

本年も新時代の漁業と漁村づくりのために「ぎょさい」がより一層浜の期待に応えるべく、国、地方公共団体、漁協系統団体等との緊密な連携のもとで漁業者の皆様と相携えて力強く前進したいと存じますので、引き続いての皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。